



Copyright © 2020 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. システム要件
 - 2.4. IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディション
 - 2.5. スタンドアローン構成と分散構成
 - 2.6. 移行手順の参照先
- 3. 制限事項
 - 3.1. 移行作業に関する制限事項
- 4. 移行手順
 - 1. 事前作業
 - 2. intra-mart WebPlatform から intra-mart Accel Platform への移行
 - 3. intra-mart Accel Platform 、および、 IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート
 - 4. IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行
 - 5. IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行
 - 6. IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行

改訂情報

変更年月日	変更内容
2020-08-01	初版
2020-12-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ■ 「環境構築」の記述を変更 ■ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行」の FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の設定手順についてのリンク先を変更
2021-04-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ■ 「intra-mart Accel Platform 、および、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート」 ■ 「既存環境のアンインストール」のリンク先を変更 ■ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行」 ■ 「環境構築」のリンク先を変更 ■ 「IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行」 ■ 「既存環境のアンインストール」のリンク先を変更 ■ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行」の FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の設定手順についてのリンク先を変更 ■ 「既存環境のアンインストール」のリンク先を変更
2021-08-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ■ 「intra-mart Accel Platform 、および、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート」 ■ 「動作確認」へ注意を追加
2022-06-01	第5版 下記を追加・変更しました。 ■ 「移行手順」 ■ 「事前作業」を追加

変更年月日	変更内容
2023-04-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「intra-mart Accel Platform、および、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート」 ▪ 「動作確認」にPDF帳票出力でのエラーについて注意を追加

はじめに

本書の目的

本書では、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデートや環境の移行手順について記載されています。

対象読者

本書は、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデートや環境の移行を行う利用者を対象としています。

システム要件

移行先環境のシステム要件については、該当するバージョンの IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート を参照してください。

最新版では、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート](#)」-「[システム要件](#)」に準じます。

IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディション

IM-PDFDesigner for Accel Platform は次の2種類のエディションが存在します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform



注意

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行は、対応していません。

詳細については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート](#)」-「[機能一覧](#)」を参照してください。

スタンドアローン構成と分散構成

本書におけるスタンドアローン構成と分散構成は次の構成を指します。

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。

分散構成

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF帳票サーバ）に連携エンジンを導入する構成で

す。

移行手順の参照先

移行パターン別に移行手順の参照先を示します。

構築環境

環境 パ ター ン	Platform	IM-PDFDesigner for Accel Platform エディション／連携エンジンバージョン	システム構成
[1]	intra-mart WebPlatform	IM-PDF デザイナー Ver.7.x IOWebDOC 1.x	スタンドアローン構成
[2]	intra-mart Accel Platform	IM-PDFDesigner for Accel Platform IOWebDOC 1.x	スタンドアローン構成
[3]	intra-mart Accel Platform	IM-PDFDesigner for Accel Platform IOWebDOC 3.x	スタンドアローン構成
[4]	intra-mart Accel Platform	IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform IOWebDOC 3.x	スタンドアローン構成
[5]	intra-mart Accel Platform	IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform IOWebDOC 3.x	分散構成

移行手順参照先

既存環 境	移行先 環境	主な移行目的 移行手順参照先
[1]	[2]～ [5]	intra-mart Accel Platform のバージョンアップ intra-mart WebPlatform から intra-mart Accel Platform への移行
[2]	[2]	intra-mart Accel Platform のアップデート、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート intra-mart Accel Platform 、および、 IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート
	[3]	連携エンジン IOWebDOC のアップデート IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行

既存環境	移行先環境	主な移行目的 移行手順参照先
	[4]	IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディションアップ IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行
	[5]	システム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の変更 IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行
[3]	[3]	intra-mart Accel Platform のアップデート、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート intra-mart Accel Platform 、および、 IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート
	[4]	IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディションアップ IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行
	[5]	システム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の変更 IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行
[4]	[4]	intra-mart Accel Platform のアップデート、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート intra-mart Accel Platform 、および、 IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート
	[5]	システム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の変更 IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行
[5]	[4]	システム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の変更 IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行
	[5]	intra-mart Accel Platform のアップデート、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート intra-mart Accel Platform 、および、 IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート



注意

構築環境、および、移行手順参照先に記載のないパターンについては、対応していません。

制限事項

移行作業に関する制限事項

intra-mart Accel Platform への移行のみ対応しています

intra-mart Accel Platform への移行のみ対応しています。

intra-mart WebPlatform をご利用の場合は、intra-mart Accel Platform への移行を検討してください。



コラム

intra-mart Accel Platform への移行については、「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」を参照してください。

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行は対応していません

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行は、対応していません。

IOWebDOC 3.x から IOWebDOC 1.x への移行は対応していません

IOWebDOC 3.x から IOWebDOC 1.x への移行については、対応していません。

IOWebDOC 1.x は、互換性のために残されています。

IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデートや環境移行の際は、IOWebDOC 3.x への移行を検討してください。

スタンドアローン構成 から 分散構成 への移行時は、ソースコードの修正が必要です

分散構成 での構築には、Representational State Transfer (REST) を使用します。

スタンドアローン構成 から 分散構成 への移行時は、

IM-PDFDesigner API から IM-PDFDesigner REST Service API へのソースコードの変更が必要です。

IM-PDF デザイナー Ver.7.x の一部のクラス、メソッドは、IM-PDFDesigner for Accel Platform では廃止されています

IM-PDF デザイナー Ver.7.x から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行時は、ソースコード

の修正が必要です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform で廃止されたメソッドは、次の通りです。

メソッド名	移行先
setCompression	なし

IM-PDFDesigner for Accel Platform で廃止されたクラスは、次の通りです。

クラス名	移行先
AbstractBuilder	なし
AbstractPageBuilder	なし
IOCelaPageBuilder	CSVCela
IOCelaPageWriter	CSVCela
IODocPageBuilder	CSVDoc
IODocPageWriter	CSVDoc
PageWriter	なし
PDFBuilder	IOIntegration
PDFWriter	IOIntegration

IM-PDFDesigner for Accel Platform で利用可能なメソッド、クラスについては、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform API ドキュメント](#)」を参照してください。



注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform の制限事項については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート](#)」 - 「[制限事項](#)」を参照してください。

移行手順

移行パターン別に移行手順を示します。



コラム

対応する移行パターン、および、移行手順については、「[はじめに](#)」 - 「[移行手順の参照先](#)」を参照してください。

事前作業

IM-PDFDesigner for Accel Platform を移行する際の事前作業について示します。

intra-mart Accel Platform 、および、 intra-mart WebPlatform での必要な作業については、「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」 - 「[事前作業](#)」を確認してください。

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を使用されている場合

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の設定ファイル< pdfd-logic-config.xml >をバックアップしてください。

設定ファイルの内容については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 < pdfd-logic-config.xml >](#)」を参照してください。

分散環境として PDF帳票サーバ を使用されている場合

REST Service の設定ファイル< pdfd-rest-config.xml >をバックアップしてください。

設定ファイルの内容については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[REST Service < pdfd-rest-config.xml >](#)」を参照してください。

intra-mart WebPlatform から intra-mart Accel Platform への移行

intra-mart WebPlatform から intra-mart Accel Platform への移行に伴う、IM-PDF デザイナー Ver.7.x から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行手順を示します。

目次

- [既存ファイル群の退避](#)
- [環境構築](#)
- [退避したファイル群の調整](#)
- [調整したファイル群の設置](#)
- [動作確認](#)

既存ファイル群の退避

移行元環境から、次のファイルを退避します。

- IM-PDF デザイナー Ver.7.x の API を使用しているソースコード一式
- 帳票レイアウトファイル（dlf、iod、def、clf、ddl、cdd）
- データファイル（DAT形式、CSV形式）
- その他関連ファイル（埋め込み用画像ファイル、外部変数ファイル、外字ファイル、フォントファイル 等）



注意

既存ファイル群の設置場所は、お客様により異なります。

設置場所については、「[PDF-Designer Ver.7.0.2プログラマーズ・ガイド](#)」-「[サンプルプログラム](#)」を参考に確認してください。

環境構築

移行先環境に、IM-PDFDesigner for Accel Platform を構築します。

セットアップ手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。



注意

ライセンスの再登録が必要です。

IM-PDF デザイナー Ver.7.x から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行時には、ライセンスが再発行されます。



注意

移行元環境で使用しているフォントや外字が、移行先環境にインストールされているか確認してください。

インストールされていない場合、PDF帳票の見た目が崩れる、または、文字化けする可能性があります。

退避したファイル群の調整

1. 帳票レイアウトファイルを、移行先環境の 帳票デザインツール IOWebDOC を使用し変換します。
 - ファイル拡張子が、dlf、または、iodの場合
 1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IODOC を起動します。
 2. ツールバーの「ファイル」-「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きま

す。

3. ツールバーの「ファイル」-「上書き保存」を選択し、ファイル形式を変更して上書き保存します。

保存時の「ファイル形式」は、最新バージョンを選択してください。

- ファイル拡張子が、def、または、clfの場合

1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IOCELA を起動します。
2. ツールバーの「ファイル」-「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きます。
3. ツールバーの「ファイル」-「上書き保存」を選択し、上書き保存します。

- ファイル拡張子が、ddlの場合

1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IOBBDoc を起動します。
2. ツールバーの「ファイル」-「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きます。
3. ツールバーの「ファイル」-「上書き保存」を選択し、上書き保存します。

- ファイル拡張子が、cddの場合

1. 帳票デザインツール IOWebDOC の CDDエディタ を起動します。
2. 起動した CDDエディタ の「新規作成」画面で、「キャンセル」ボタンをクリックします。
3. ツールバーの「ファイル」-「開く」を選択し、cddファイルを開きます。
4. ツールバーの「ファイル」-「上書き保存」を選択し、上書き保存します。

2. データファイルを、移行先環境で対応する文字コードに変換します。

対応する文字コードについては、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート](#)」の「[データファイルの文字コード](#)」を参照してください。



注意

上位システムから出力されるデータファイルを使用する場合は、対応する文字コードでデータファイルを出力するようにプログラムを修正してください。

3. ソースコードを、IM-PDFDesigner for Accel Platform の API に基づき修正します。



注意

IM-PDF デザイナー Ver.7.x から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行時は、ソースコードの修正が必要です。

詳細については、「[IM-PDF デザイナー Ver.7.x の一部のクラス、メソッドは、IM-PDFDesigner for Accel Platform では廃止されています](#)」を参照してください。



注意

データセット前に、対応する文字コードに変換するようにプログラムを修正してください。



注意

setCharset メソッドが追加されています。

PDF出力時の文字コードを指定するようにプログラムを修正してください。

サンプルソース

```
var pdf = new IODoc(iodPath, "");
pdf.setCharset( "UnicodeLittle" );
// 後続処理を記載
```

調整したファイル群の設置

調整したファイル群一式を、移行先環境へ設置します。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」-「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に設置してください。



注意

移行元環境で、独自の設定やファイルを使用している場合には、移行先環境への設定漏れやファイルの設置漏れがないか確認してください。

動作確認

動作確認を実施します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用し、PDF帳票ファイルを作成します。

埋め込みデータや入力データの文字列、表や図などが想定通りに出力されているか確認します。

出力したPDF帳票ファイルの見た目が崩れている場合には、帳票レイアウトファイルを調整してください。



注意

帳票レイアウトファイル毎に出力内容が異なります。全ての帳票レイアウトファイルについて動作確認が必要です。



注意

想定通りに出力されない場合には、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。

以上で、IM-PDF デザイナー Ver.7.x から IM-PDFDesigner for Accel Platform への移行作業は完了です。

Accel Platform のアップデート

intra-mart Accel Platform、および、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート手順を示します。



注意

2017 Summer から、IOWebDOC 3.x が利用可能になりました。

IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行時は、手順が異なります。

移行手順については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行](#)」を参照してください。

目次

- [既存ファイル群の退避](#)
- [既存環境のアンインストール](#)
- [環境構築](#)
- [退避したファイル群の設置](#)
- [動作確認](#)

既存ファイル群の退避

既存環境から、次のファイルを退避します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform の API を使用しているソースコード一式
- 帳票レイアウトファイル（dlf、iod、def、clf、ddl、cdd）
- データファイル（DAT形式、CSV形式）
- その他関連ファイル（埋め込み用画像ファイル、外部変数ファイル、外字ファイル、フォントファイル 等）



注意

既存ファイル群の設置場所は、お客様により異なります。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に確認してください。

既存環境のアンインストール

1. 既存環境から、連携エンジン IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、次を参照してください。

- スタンドアローン構成

- 分散構成

「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「[連携エンジン IOWebDOC のアンインストール](#)」

2. 既存環境から、帳票デザインツール IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[IOWebDOCのアンインストール](#)」を参照してください。

3. 既存環境から、PDF帳票サーバをアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[PDF帳票サーバ](#)」を参照してください。



注意

連携エンジン IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 連携エンジン IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。



注意

帳票デザインツール IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 帳票デザインツール IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。

環境構築

1. intra-mart Accel Platform をアップデートします。

セットアップ手順は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[モジュールのアップデート](#)」を参照してください。

2. IM-PDFDesigner for Accel Platform を構築します。

セットアップ手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。



注意

既存環境をアップデートする場合は、ライセンスの再登録は不要です。



注意

既存環境で使用しているフォントや外字が、新しい環境にインストールされているか確認してください。

インストールされていない場合、PDF帳票の見た目が崩れる、または、文字化けする可能性があります。

退避したファイル群の設置

退避したファイル群を、新しい環境へ設置します。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」-「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に設置してください。



注意

既存環境で、独自の設定やファイルを使用している場合には、新しい環境への設定漏れやファイルの設置漏れがないか確認してください。

動作確認

動作確認を実施します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用し、PDF帳票ファイルを作成します。

埋め込みデータや入力データの文字列、表や図などが想定通りに出力されているか確認します。

出力したPDF帳票ファイルの見た目が崩れている場合には、帳票レイアウトファイルを調整してください。



注意

過去の一部のバージョンのAPIドキュメントでは、ファイル出力APIの正常終了の戻り値として「正の整数（固定値）」を記載していますが、正しくは、「0以上」となります。
（サンプルでは、以前より「0以上」を正常終了としています）

そのため、該当するAPIの正常終了の戻り値を、固定値で判定している場合、問題が生じる可能性があります。

該当するプログラムを実装している場合は、「0以上」を正常終了とするよう修正してください。



注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2022 Spring 以前のバージョンから 2022 Winter 以降のバージョンへアップデートした際、PDF帳票出力においてエラーが発生する可能性があります。

エラーが発生した場合は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。



注意

帳票レイアウトファイル毎に出力内容が異なります。全ての帳票レイアウトファイルについて動作確認が必要です。



注意

想定通りに出力されない場合には、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。

以上で、IM-PDFDesigner for Accel Platform のアップデート作業は完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行

IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行手順を示します。

目次

- [既存ファイル群の退避](#)
- [既存環境のアンインストール](#)
- [環境構築](#)
- [退避したファイル群の調整](#)
- [調整したファイル群の設置](#)
- [動作確認](#)

既存ファイル群の退避

移行元環境から、次のファイルを退避します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform の API を使用しているソースコード一式
- 帳票レイアウトファイル（dlf、iod、def、clf、ddl、cdd）
- データファイル（DAT形式、CSV形式）
- その他関連ファイル（埋め込み用画像ファイル、外部変数ファイル、外字ファイル、フォントファイル 等）



注意

既存ファイル群の設置場所は、お客様により異なります。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に確認してください。

既存環境のアンインストール

1. Web Application Server（Resin 等）を停止します。
2. IOWebDOC 1.x をアンインストールします。
 - Windows の場合
 1. [コントロール パネル] - [プログラムと機能] 画面を表示します。
 2. 次のプログラムをアンインストールします。
 - YSS IOWebDOC Vx.x.x.x 64bit（x.x.x.xはバージョン番号）
 - Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable（IOWebDOC インストール時に同時にインストールした場合のみ）
 - Linux の場合
 1. 連携エンジン IOWebDOC がインストールされたディレクトリを削除します。

```
$ rm -r /usr/local/webdoc/
```



注意

連携エンジン IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 連携エンジン IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。



注意

帳票デザインツール IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 帳票デザインツール IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。

環境構築

1. IOWebDOC 3.x をインストールします。
 - Windows の場合
 1. 連携エンジン IOWebDOC（webdoc_runtime-3.x.x.x-win64.zip）を任意のフォルダに解凍します。
 2. 解凍後 setup.exe を実行します。「右クリック→管理者として実行」でインストー



コラム

Visual C++ ランタイム ライブラリ (x64) のインストール画面が表示される場合は、

「インストール(I)」をクリックします。

■ Linux の場合

1. 連携エンジン IOWebDOC (webdoc_runtime-3.x.x.x-linux64.tar) をコピーします。

```
$ cp [ディレクトリ]/install/lnx64/webdoc_runtime-3.x.x.x-linux64.tar /usr/local/
```

2. 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/  
$ tar xvf webdoc_runtime-3.x.x.x-linux64.tar
```



コラム

Web Application Server を起動するユーザで解凍します。

解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

3. 解凍したディレクトリの名称を webdoc に変更します。

```
$ mv webdoc_runtime-3.x.x.x-linux64 webdoc
```

4. webdoc/etc/license.txt にライセンスを入力します。

```
$ vi webdoc/etc/license.txt
```

```
# IODOC/IOWebDOC License file  
#  
#Sample  
#6d8b01ud00030d4b-ABCDE-1234-abc ←コメントアウトし、次行からライセンス  
を入力して下さい。
```



注意

連携エンジン IOWebDOC のみ移行する場合は、ライセンスの再登録は不要です。



注意

移行元環境で使用しているフォントや外字が、移行先環境にインストールされているか確認してください。

インストールされていない場合、PDF帳票の見た目が崩れる、または、文字化けする可能性があります。

2. PDF出力時のフォント埋め込み設定を実施します。

設定方法については次を参照してください。

- Windows の場合
 - 「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「フォント埋め込み設定」
- Linux の場合
 - 「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「フォント埋め込み設定」

3. Web Application Server（Resin 等）を起動します。

退避したファイル群の調整

1. 帳票レイアウトファイルを、移行先環境の 帳票デザインツール IOWebDOC を使用し変換します。

- ファイル拡張子が、dlf、または、iodの場合
 1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IODOC を起動します。
 2. ツールバーの「ファイル」 - 「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きます。
 3. ツールバーの「ファイル」 - 「上書き保存」を選択し、ファイル形式を変更して上書き保存します。
保存時の「ファイル形式」は、最新バージョンを選択してください。
- ファイル拡張子が、def、または、clfの場合
 1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IOCELA を起動します。
 2. ツールバーの「ファイル」 - 「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きます。
 3. ツールバーの「ファイル」 - 「上書き保存」を選択し、上書き保存します。
- ファイル拡張子が、ddlの場合
 1. 帳票デザインツール IOWebDOC の IOBDOC を起動します。
 2. ツールバーの「ファイル」 - 「開く」を選択し、帳票レイアウトファイルを開きます。
 3. ツールバーの「ファイル」 - 「上書き保存」を選択し、上書き保存します。
- ファイル拡張子が、cddの場合
 1. 帳票デザインツール IOWebDOC の CDDエディタ を起動します。
 2. 起動した CDDエディタ の「新規作成」画面で、「キャンセル」ボタンをクリックします。

3. ツールバーの「ファイル」-「開く」を選択し、cddファイルを開きます。
 4. ツールバーの「ファイル」-「上書き保存」を選択し、上書き保存します。
2. データファイルを、移行先環境で対応する文字コードに変換します。
- 対応する文字コードについては、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート](#)」の「[データファイルの文字コード](#)」を参照してください。



注意

上位システムから出力されるデータファイルを使用する場合は、対応する文字コードでデータファイルを出力するようにプログラムを修正してください。

3. ソースコードを、IM-PDFDesigner for Accel Platform のAPI に基づき修正します。



注意

データセット前に、対応する文字コードに変換するようにプログラムを修正してください。

調整したファイル群の設置

調整したファイル群一式を、移行先環境へ設置します。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」-「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に設置してください。



注意

移行元環境で、独自の設定やファイルを使用している場合には、移行先環境への設定漏れやファイルの設置漏れがないか確認してください。

動作確認

動作確認を実施します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用し、PDF帳票ファイルを作成します。

埋め込みデータや入力データの文字列、表や図などが想定通りに出力されているか確認します。

出力したPDF帳票ファイルの見た目が崩れている場合には、帳票レイアウトファイルを調整してください。



注意

帳票レイアウトファイル毎に出力内容が異なります。全ての帳票レイアウトファイルについて動作確認が必要です。



注意

想定通りに出力されない場合には、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。

以上で、IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行作業は完了です。

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行手順を示します。

目次

- [既存ファイル群の退避](#)
- [既存環境のアンインストール](#)
- [環境構築](#)
- [退避したファイル群の調整](#)
- [調整したファイル群の設置](#)
- [動作確認](#)

既存ファイル群の退避

移行元環境から、次のファイルを退避します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform の API を使用しているソースコード一式
- 帳票レイアウトファイル（dlf、iod、def、clf、ddl、cdd）
- データファイル（DAT形式、CSV形式）
- その他関連ファイル（埋め込み用画像ファイル、外部変数ファイル、外字ファイル、フォントファイル 等）



注意

既存ファイル群の設置場所は、お客様により異なります。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に確認してください。

既存環境のアンインストール

1. 移行元環境から、連携エンジン IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、次を参照してください。

- スタンドアローン構成

「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「[連携エンジン IOWebDOC のアンインストール](#)」

- 分散構成

「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」 - 「[連携エンジン IOWebDOC のアンインストール](#)」

2. 移行元環境から、帳票デザインツール IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[IOWebDOCのアンインストール](#)」を参照してください。



注意

連携エンジン IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 連携エンジン IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。



注意

帳票デザインツール IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 帳票デザインツール IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。

環境構築

IM-PDFDesigner for Accel Platform を構築します。

セットアップ手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。



注意

システム構成移行時は設置サーバが異なりますので、ライセンスの再登録が必要です。



注意

移行元環境で使用しているフォントや外字が、移行先環境にインストールされているか確認してください。

インストールされていない場合、PDF帳票の見た目が崩れる、または、文字化けする可能性があります。

退避したファイル群の調整

ソースコードを、IM-PDFDesigner for Accel Platform の API に基づき修正します。

ソースコード中の API は、スタンドアローン構成 の場合 IM-PDFDesigner API 、分散構成 の場合 IM-PDFDesigner REST Service API へ変更が必要です。

利用可能なクラスについては、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform API ドキュメント](#)」を参照してください。



コラム

変更例（スクリプト開発モデル）

```
// スタンドアローン構成
var pdf = new IODoc("pdfd/tutorial/nouhinkensa.iod", "");
// 分散構成
var pdf = new IODocRemote("pdfd/tutorial/nouhinkensa.iod", "");
```

変更例（JavaEE開発モデル）

```
// スタンドアローン構成
CSVDoc pdf = new CSVDoc("pdfd/tutorial/nouhinkensa.iod", "");
// 分散構成
CSVDocRemote pdf = new CSVDocRemote("pdfd/tutorial/nouhinkensa.iod", "");
```

調整したファイル群の設置

調整したファイル群一式を、移行先環境へ設置します。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に設置してください。



注意

移行元環境で、独自の設定やファイルを使用している場合には、移行先環境への設定漏れやファイルの設置漏れがないか確認してください。

動作確認

動作確認を実施します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用し、PDF帳票ファイルを作成します。

埋め込みデータや入力データの文字列、表や図などが想定通りに出力されているか確認します。

出力したPDF帳票ファイルの見た目が崩れている場合には、帳票レイアウトファイルを調整してください。



注意

帳票レイアウトファイル毎に出力内容が異なります。全ての帳票レイアウトファイルについて動作確認が必要です。



注意

想定通りに出力されない場合には、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。

以上で、システム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行作業は完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行

IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行手順を示します。



注意

運用環境や 連携エンジン IOWebDOC を変更するなど、移行に伴った状況によって手順が異なります。

- 移行元環境で IOWebDOC 1.x を利用している場合

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行の前に、IOWebDOC 3.x への移行が必要です。

移行手順については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform の IOWebDOC 1.x から IOWebDOC 3.x への移行](#)」を参照してください。

- 分散構成 で構築する場合

ソースコードの修正が必要です。

詳細については、「[IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform のシステム構成（スタンドアローン構成、分散構成）の移行](#)」を参照してください。

- FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を使用する場合

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行時に、FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 に関する設定が必要です。

設定手順については、次を参照してください。

- 「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「アプリケーションの追加」
- 「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「IM-LogicDesigner 連携 < pdfd-logic-config.xml >」

目次

- [既存ファイル群の退避](#)
- [既存環境のアンインストール](#)
- [環境構築](#)
- [退避したファイル群の設置](#)
- [動作確認](#)

既存ファイル群の退避

移行元環境から、次のファイルを退避します。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform の API を使用しているソースコード一式
- 帳票レイアウトファイル（dlf、iod、def、clf、ddl、cdd）
- データファイル（DAT形式、CSV形式）
- その他関連ファイル（埋め込み用画像ファイル、外部変数ファイル、外字ファイル、フォントファイル 等）



注意

既存ファイル群の設置場所は、お客様により異なります。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に確認してください。

既存環境のアンインストール

1. 移行元環境から、連携エンジン IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[連携エンジン IOWebDOC のアンインストール](#)」を参照してください。

2. 移行元環境から、帳票デザインツール IOWebDOC をアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[IOWebDOCのアンインストール](#)」を参照してください。

3. 移行元環境から、IM-PDFDesigner for Accel Platform をアンインストールします。

アンインストール手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[アプリケーションの削除](#)」を参照してください。



注意

連携エンジン IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 連携エンジン IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。



注意

帳票デザインツール IOWebDOC は、異なるバージョンであっても同一環境内に共存させることはできません。

インストール済みの 帳票デザインツール IOWebDOC を必ずアンインストールしてください。

環境構築

移行先環境に、IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform を構築します。

セットアップ手順は、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。



注意

ライセンスの再登録が必要です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform から IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行時には、ライセンスが再発行されます。



注意

移行元環境で使用しているフォントや外字が、移行先環境にインストールされているか確認してください。

インストールされていない場合、PDF帳票の見た目が崩れる、または、文字化けする可能性があります。

退避したファイル群の設置

退避したファイル群を、新しい環境への設置します。

設置場所については、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」 - 「[サンプルプログラム・データの保存位置](#)」を参考に設置してください。



注意

移行元環境で、独自の設定やファイルを使用している場合には、移行先環境への設定漏れやファイルの設置漏れがないか確認してください。

動作確認

動作確認を実施します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用し、PDF帳票ファイルを作成します。

埋め込みデータや入力データの文字列、表や図などが想定通りに出力されているか確認します。

出力したPDF帳票ファイルの見た目が崩れている場合には、帳票レイアウトファイルを調整してください。



注意

帳票レイアウトファイル毎に出力内容が異なります。全ての帳票レイアウトファイルについて動作確認が必要です。



注意

想定通りに出力されない場合には、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング](#)」を参照してください。

以上で、IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform への移行作業は完了です。